

◎バクトロバン鼻腔用軟膏 [外]

【重要度】 【一般製剤名】 ムピロシンカルシウム水和物 (MUP) (U) mupirocin calcium hydrate 【分類】 鼻腔内 MRSA 除菌剤

【単位】 ◎3g/本 [0.2%]

【用法】 適量を 1 日 3 回、鼻腔内に塗布■1 回塗布量：1 回片側 30mg (あずき粒程度) ずつを綿棒の先にとって両鼻腔内に塗布し、薬剤を均一に伸ばすため、両側の鼻翼の上からよくマッサージする。

【透析患者への投与方法】 常用量 (5) 【その他の報告】 PD の出口部 MRSA 感染に本剤のカテーテル出口部への局所投与が有効であるという報告がある (Perit Dial Int 18: 261-70,1998) PD の出口部 MRSA 感染に本剤のカテーテル出口部への局所投与は安全かつ効果的に認容性も高い。カテーテル抜去による HD 移行も減少し死亡率も減少した (Casey M, et al: Perit Dial Int 20: 566-8, 2000)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (5)

【特徴】 1 日 3 回、3 日間の鼻腔内塗布により MRSA 除菌効果が得られる。粘膜吸収は認められない。においが少なく塗布面に着色しない滑らかな軟膏剤である

【主な副作用・毒性】 鼻炎様症状、刺激感、鼻汁

【吸収】 24hr 健康な成人男子の腕に閉塞塗布したが、事実上、全身への吸収はない (全血濃度 1.1 ng/mL 以下) (U)

【MW】 1075.34

【O/W 係数】 4.2 [1-オクタノール水系, pH7] (1) 【pKa】 4.9 (1)

【主な臨床報告】 ムピロシンの予防的鼻腔内塗布は S. aureus による手術部位の感染率を有意に減少させなかったが、S. aureus 鼻腔保菌患者では S. aureus によるすべての感染率を有意に減少させた (Perl TM, et al. N Engl J Med 346: 1871-7, 2002)

【備考】 耐性菌の発現などを防ぐため原則として感受性を確認し、必要最小限の期間 (3 日程度) の投与にとどめて漠然と長期にわたり投与しない

【更新日】 20150801

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。